

肉眼解剖(上肢の部位)の学習目標 (ポイント)

- 1) 上肢の筋を上肢帯、上腕、前腕、手に分けて分類でき、それぞれの分類の意味が説明できる。
- 2) 上肢帯の筋群がそれぞれ理解できる(起始、停止、作用、神経支配)。
 - 1 体幹より起こり、上肢帯に至る筋群
[僧帽筋、肩甲挙筋、大菱形筋、小菱形筋、前鋸筋、小胸筋、鎖骨下筋]
 - 2 体幹から起こり、上肢帯を越えて上腕骨に至る筋群
[大胸筋、広背筋]
 - 3 上肢帯から上腕骨に至る筋群
[三角筋、烏口腕筋、大円筋、肩甲下筋、棘上筋、棘下筋、小円筋]
- 3) 上腕の筋群がそれぞれ理解できる(起始、停止、作用、神経支配)。
[上腕二頭筋、上腕筋、上腕三頭筋]
- 4) 前腕前側の筋(屈筋)群がそれぞれ理解できる(起始、停止、作用、神経支配)。
 - 1 浅層筋
[橈側手根屈筋、尺側手根屈筋、長掌筋、短掌筋、円回内筋]
 - 2 中層筋
[浅指屈筋]
 - 3 深層筋
[深指屈筋、長母指屈筋、方形回内筋]
- 5) 前腕後側の筋(伸筋)群がそれぞれ理解できる(起始、停止、作用、神経支配)。
 - 1 浅層筋
[長橈側手根伸筋、短橈側手根伸筋、総指伸筋、小指伸筋、尺側手根伸筋、腕橈骨筋]
 - 2 深層筋
[長母指外転筋、短母指伸筋、長母指伸筋、示指伸筋、回外筋]
- 6) 手の筋がそれぞれ理解できる(起始、停止、作用、神経支配)。
 - 1 母指球筋群
[短母指外転筋、母指対立筋、短母指屈筋、母指内転筋]
 - 2 小指球筋群
[小指外転筋、小指対立筋、短小指屈筋]
 - 3 中手筋群
[中葉筋、掌側骨間筋、背側骨間筋]
- 7) 上腕の屈筋と伸筋の間の隔壁である内側および外側上腕筋間中隔を理解する。

8) 上肢に分布する主な神経(橈骨神経、尺側神経、正中神経、筋皮神経など)の走行と分布する筋を整理する。

9) 橈骨神経麻痺、尺側神経麻痺、正中神経麻痺が生じた場合の症状と、なぜそのような症状を示すのかについて、解剖学的に説明できる。

10) 腋窩の構成を理解する。

*前壁(大胸筋、小胸筋、腋窩弓)、外側壁(烏口腕筋、上腕二頭筋、上腕骨上部)
内側壁(前鋸筋)、後壁(広背筋、大円筋、肩甲下筋)

11) 外側腋窩隙、内側腋窩隙の構成と内部を通過する脈管や神経を理解する。

12) 肘窩の構成とそこに観察される構造が説明できる。

13) 回内運動、回外運動を解剖学的に説明できる。

14) 手根管の構築、その中を通過する構造を理解し、これらが障害を受けた場合(手根管症候群)の症状や発症原因について説明できる。

15) 腕神経叢について、理解する。

16) 腕神経叢における上位神経幹障害(Erb-Duchenne palsy)、下位神経幹障害 (Klumpke palsy)について解剖学的な見地から説明できる。

17) 腋窩動脈とその分岐を理解する。

18) 肩部における回旋動脈の構築が理解できる。

19) 上腕動脈とその分岐を理解する

20) 肘関節動脈網の構成を理解する。

21) 前腕部における動脈(橈骨動脈、尺骨動脈)の走行を理解する。

22) 浅掌動脈弓、深掌動脈弓が理解できる。

23) 肩鎖関節、肩関節、肘関節、手の関節の構築が理解できる。